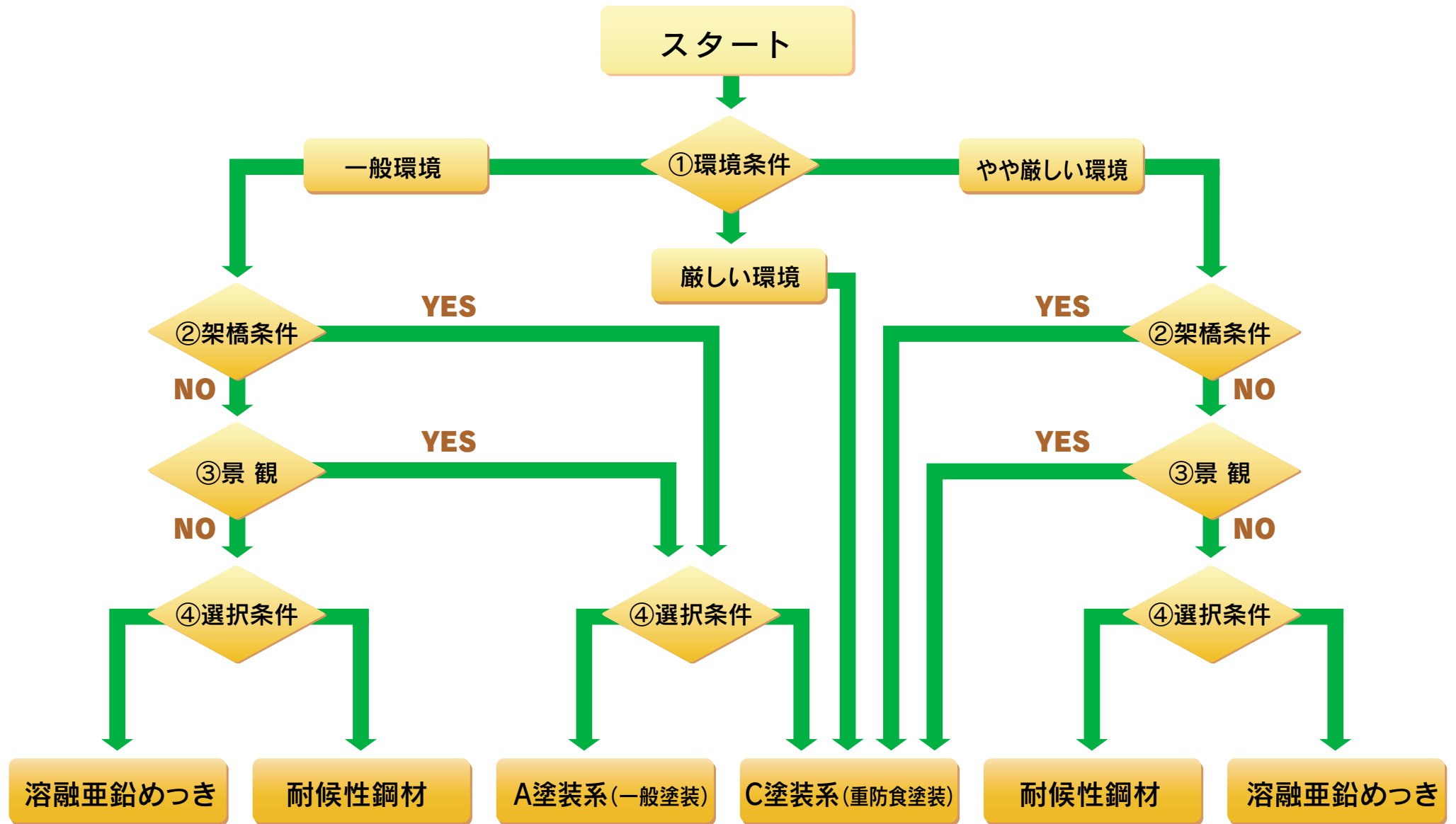


防錆方法選定フローチャート



防錆方法選定フローチャート

①環境条件

| 腐食環境区分 | |
|---------|--|
| 一般環境 | 飛来塩分の影響を受けず自動車の排気ガスや工場の煤煙を強く受けない田園、山間部。 |
| やや厳しい環境 | 飛来塩分の影響を受けず自動車の排気ガスや工場の煤煙を強く受ける都市部、工業地帯。 |
| 厳しい環境 | 潮風が強く、飛来塩分の影響を強く受ける海上、海浜地区及び高温多湿帯。 |

②架橋条件（塗替が容易－YES、塗替が困難－NO）

| 区分 | 塗 装 | | 溶融亜鉛めっき | 耐候性鋼材 |
|------------|------|---------|---------|-------|
| | 一般塗装 | 重防食塗装 | | |
| 跨線道路上高所の場所 | × | ○ 注1 | ○ | ○ |

記号：○使用可、△注意事項参照の上使用可、×使用不可

注1：1) 塗装中の環境因子(温度、湿度、風、塩分)をコントロールできるか。

2) 十分な安全対策と公害防止(塗料の飛散)対策ができるか。

③景 観（考慮する－YES、考慮しない－NO）

| 区分 | 塗 装 | | 溶融亜鉛めっき | 耐候性鋼材 |
|--------|------|-------|---------|---------|
| | 一般塗装 | 重防食塗装 | | |
| 周辺との調和 | ○ | ○ | △ 注2 | △ 注2 |

記号：○使用可、△注意事項参照の上使用可、×使用不可

注2：景観にマッチした色彩を選択できない。

④選択条件

| 腐食環境区分 | 塗 装 | | 溶融亜鉛めっき | 耐候性鋼材 |
|---------|------|-----------|-----------|-----------|
| | 一般塗装 | 重防食塗装 | | |
| 一般環境 | ○ | ○ 注3-2 | △ | △ 注3-1 |
| やや厳しい環境 | × | ○ | △ 注3-3 | △ 注3-1 |
| 厳しい環境 | × | ○ | × | × |

記号：○使用可、△注意事項参照の上使用可、×使用不可

注3-1：1) 凍結防止剤を多量に散布する橋梁は使用不可。

2) 塩分のたまりやすい部位は塗装を施す必要がある。

3) 錆対策が必要である。

4) 層状剥離錆が生成するような桁端部や乾湿繰返しのおきる箱桁内部は塗装する必要がある。

注3-2：1) 重防食塗装は初期投資額が大きいが長期の維持管理費用を考えると経済的とする場合がある。全工場塗装が望ましい。

2) 鋼床版は環境に拘らずC塗装系を採用する。

注3-3：亜硫酸ガス由来の酸性水溶液により亜鉛の腐食が増大し外観上問題になる場合がある。